

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	府中町立府中中学校	校長	小山 貴美	担当者名	久保 直樹
取組事例名		『生徒主体の文化祭の創造』			
生徒指導に係る連携体制の確立		カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり	
<b>取組における育てたい資質・能力</b>					
「課題発見力」「他とかかわる力」「自ら行動する力」					
<b>取組のねらい</b>					
4月より一度も全校で集まることができていない状況の中で，全校生徒がつながる活動を通し，集団への所属感を深め，自己存在感を高める。					
<b>取組の具体的内容</b>			<b>取組の創意工夫</b>		
<p>① 文化祭に，この状況下で生徒全員が参加することができることを考える。</p> <p>② 生徒会を主体に，テーマとの連動を考えながら具体的な活動内容を考え，活動スケジュールを立てる。</p> <p>③ 文化祭実行委員会にて確認を行い，各クラスで活動を行い，全体集約を生徒会が行う。</p> <p>④ 文化祭当日，それぞれで取り組んだことを発表する。</p> <p>⑤ 他学年等に対して，振り返りを記入する。</p> <p>⑥ 各家庭へ取り組んだ過程も含んだDVDを配布する。</p>			 <p>◎全校生徒の顔写真とメッセージをつなぎあわせてテーマを作る。</p>  <p>◎3年生が後輩に伝えたいメッセージ</p> <p>◎各クラス，各部活動の紹介動画の作成を行い，各動画をつなげることでつながりを持たせる編集を行った。</p> <p>◎グラウンドでの取組 ※運動会未実施のため 府中音頭（1年生）よさこい（2・3年生） 吹奏楽部の発表</p> <p>◎体育館・掲示物見学・動画視聴（交代制）</p>		
<b>取組の成果と課題</b>					
<p>（成果）文化祭後のアンケートの記述から，達成感を感じている生徒が多かった。3年生が次に進むための1つの区切りとすることができた。また，生徒会本部として活動した生徒が，自分達で作り上げた文化祭として自信を深めることができた。学級への所属感をもち，生徒同士のつながりを深め，その後の学級経営も円滑に行うことができた。制限があることにより慣習となって活動してきたことを見直す良い機会となった。</p> <p>（課題）学年をこえた関わり合いが難しかったため，取組段階での関わりが薄く，学校全体としての一体感を作り出すことが難しかった。来年度，どのように行事を位置付けていくのか，目的意識をしっかりと持った活動を進めていく必要がある。</p>					